

授業科目名(英文名) / Course Title	地域ケアシステム看護科学特論/Nursing Science of Community Health and Care System		
担当教員(所属)/Instructor	田村 須賀子(医学部), 新鞍 眞理子(医学部), 高倉 恭子(医学部)		
授業科目区分/Category	看護学専攻		
COC+科目/COC+Course	-		
開講学期/Period	2021年度/Academic Year 前期・金曜3限	授業種別/Type of class	講義科目
時間割コード/Registration Code	356210	対象所属/Eligible Faculty	看護学専攻
ナンバリングコード/Numbering Code	3P1-85007-0760	対象学年/Eligible grade	1、2、3年
オフィスアワー(自由質問時間) /Office hours	田村 須賀子【前期】火曜日 11:00-13:00、金曜日 11:00-13:00、火曜日 18:00-20:00 【後期】水曜日 11:00-13:00、金曜日 11:00-13:00、月曜日 18:00-20:00 ただし、不在の時があるのでメールにて事前連絡をしてください。新鞍 眞理子(事前に連絡先のメールアドレスに連絡してください。), 高倉 恭子【前期】外部施設実習		
リアルタイム・アドバイス/Real-time advice	更新日		
受講者の主体性を求めます。必ず事前学習をしてきてください。 英語の資料とスライドも使用します。 対面授業のみで実施します。			
授業のねらいとカリキュラム上の位置付け(一般学習目標)/Course Objective			
コミュニティの形成と、コミュニティがもつ自助・共助の力を引き出し、そこで生活する個人・家族(集団)の助け合い・支え合いの醸成と、コミュニティの機能が持続可能な体制の構築、社会資源として機能する看護活動の在り方について実践知中心に追究する。 具体的な看護科学の事象として、コミュニティで機能する地区活動、家庭訪問、家族看護、地域包括ケアシステム、介護予防、在宅看護推進システム、生活習慣病予防、地域職域連携、等を扱う。			
達成目標/Course Goals			
コミュニティの形成と、コミュニティがもつ自助・共助の力を引き出し、そこで生活する個人・家族(集団)の助け合い・支え合いの醸成と、コミュニティの機能が持続可能な体制の構築、社会資源として機能する看護科学について論述できる。 1. コミュニティがもつ自助・共助の力を引き出すことの、看護としての意義と方法について論述できる。 2. コミュニティで生活する個人・家族(集団)の助け合い・支え合いを醸成することの、看護としての意義と方法について論述できる。 3. コミュニティの機能が持続可能な体制の構築、社会資源として機能する看護活動の在り方について論述できる。			
授業計画(授業の形式、スケジュール等)/Class schedule			
地域ケアシステム看護科学における看護理論・概念、研究方法について理解する。また「東洋の知」を取入れた医療(統合医療)の研究手法についても理解する。 1. オリエンテーション 学修の進め方・方法について(第1回 担当:田村・新鞍) 2. 地域ケアシステム看護の立場から追究すべき研究課題について、その必要性・背景に基づいて理解する(第2~4回 担当:田村, 第5回 担当:新鞍) 3. 地域ケアシステム看護の研究課題を追究するうえで必要な概念・理論を理解する(第6~8回 担当:田村, 第9回 担当:新鞍) 4. 地域ケアシステム看護の研究課題を追究するうえで、妥当性のある研究方法について理解する(第10回 担当:新鞍、第11回 担当:高倉・新鞍、12~13回 担当:新鞍) 5. 「東洋の知」を取入れた地域ケアシステム看護とは(第14~15回 担当:田村・新鞍)			
【授業の形式】 以下に示す事項に関連した実践方法及び研究方法について、文献や自らの実践例の分析に基づき、発表・討議を行う。 1. コミュニティの健康課題を明らかにするための、地域住民個別・集団の健康生活上の援助ニーズ把握と看護診断、計画・実践・評価の一連の過程 2. 地域住民個別・集団に対する看護援助の質向上への貢献に向けた看護援助 3. 地域住民を家族単位で捉え、人々が生活を営む背景・所属集団を対象とした看護実践 4. 健康問題を抱える人と家族に対する在宅ケアマネジメント 5. 保健師・訪問看護職への業務研究指導			
授業時間外学修(事前・事後学修)/Independent Study Outside of Class			
事前学習の成果(授業1回あたり2時間以上)を説明してもらってから、質疑応答・ディスカッションをします。 事後学習(授業全体を通して2時間以上)は、質疑応答・ディスカッションを反映させて事前学習の成果を加筆修正し、考察をつけて提出してください。			
キーワード/Keywords			
コミュニティ、個人・家族(集団)、自助・共助、助け合い・支え合いの醸成、地区活動、家庭訪問、家族看護、地域ケアシステム、地域包括ケアシステム、介護予防、在宅看護推進システム、生活習慣病予防、地域職域連携			
履修上の注意/Notices			
教科書・参考書等/Textbooks			
教科書は使用しない。授業中に配付するプリント小冊子を使用する。 参考資料は、Moodle https://lms.u-toyama.ac.jp/login/index.php に置く。 教材は、理論疫学、社会疫学、政策疫学の基本的翻訳書および地域看護に必要な統計学・プレゼンテーション技術の解説書を予定している。			
成績評価の方法/Evaluation			
評価に対するすべての目標の寄与率は同等です。 課題発表と討論への参加状況(50%)、レポート内容(50%) レポートは、事前学習成果の報告と事後の内容を踏まえて、科目のねらい・目標に向けて、ご自身の考えを自分の言葉で書いて付けてください。事前学習の成果からどれだけ改善されているかで評価します。			
関連科目/Related course			
地域ケアシステム看護科学演習			
リンク先 URL/URL of syllabus or other information			
U. Toyama Moodle: https://lms.u-toyama.ac.jp/login/index.php			
備考/Notes			